

# 手術で麻酔を 受けられる方のために

この度は手術をお受けになることが決まり、麻酔についても気になることと思いますが、専門の麻酔科医が複数であなたの手術の麻酔を担当しますのでご安心下さい。

手術の前に担当の麻酔科医が、手術の麻酔について説明にまいります。

わかりにくいことや不明な点は、ご遠慮なくお尋ね下さい。



筑波大学附属病院麻酔科

## 麻酔って何？

局所麻酔のみの時は意識があります。

- 全身麻酔とは薬により手術中の患者さんの意識を一時的に無くし、痛みを感じさせなくする方法です。
- 麻酔中は、麻酔科医が常にそばにいて、血圧や呼吸状態など全身管理を行っています。



## 麻酔方法は？

- 全身麻酔  
吸入麻酔と静脈麻酔があります。
- 局所麻酔  
局所浸潤麻酔や伝達麻酔（脊椎麻酔、硬膜外麻酔、神経叢遮断法）など
- 全身麻酔+局所麻酔  
併用して行う場合も多いです。



# 全身麻酔前 病棟での注意

- 手術前8時間は食べたり、飲んだりしないでください。
- 手術室に入る前に看護婦がいろいろな処置をします。ご協力ください。
- 入室90分前に不安をやわらげる薬を飲んでもらいます。このあとはふらつくことがあるので歩かないでください。
- 時計、指輪、入れ歯は必ずはずしておいてください。



# 全身麻酔-手術室で

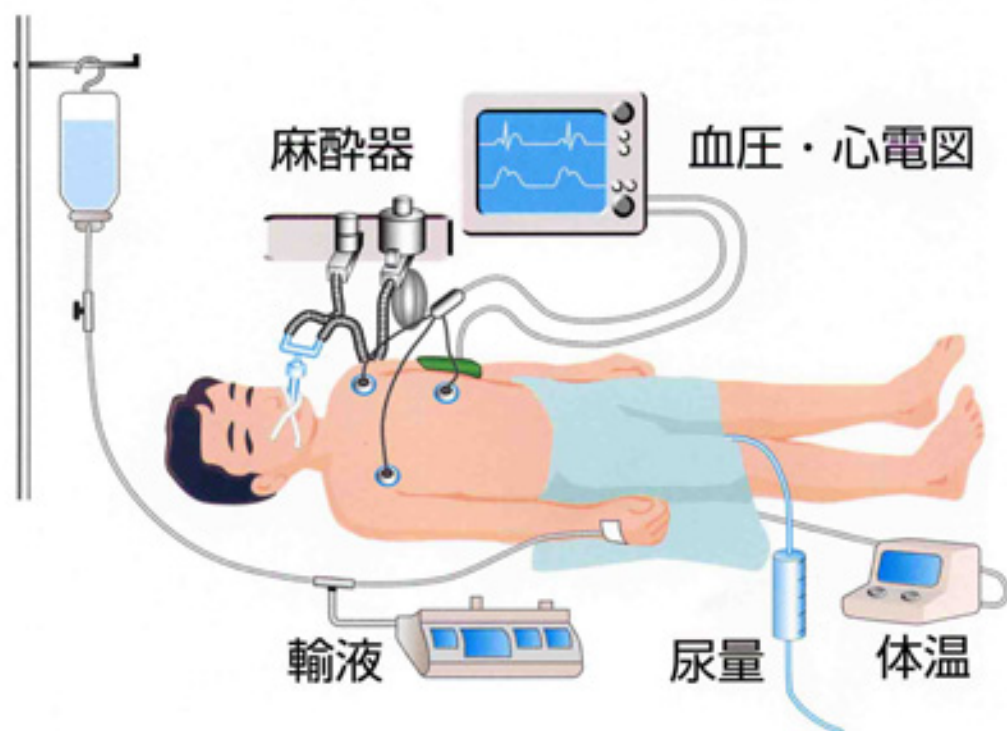
- 手術室に到着すると、心電計、血圧計などを装着し、点滴を開始します。
- 続いて、全身麻酔の前に、手術中・手術後の鎮痛のために硬膜外麻酔や神経叢遮断法などを併用することがあります。
- 通常、全身麻酔の際には、眠っている間に金属の器具を用いて、気管の中にチューブを注意深く挿入します。これは、人工呼吸を行う際に必要なものです。



# 全身麻酔

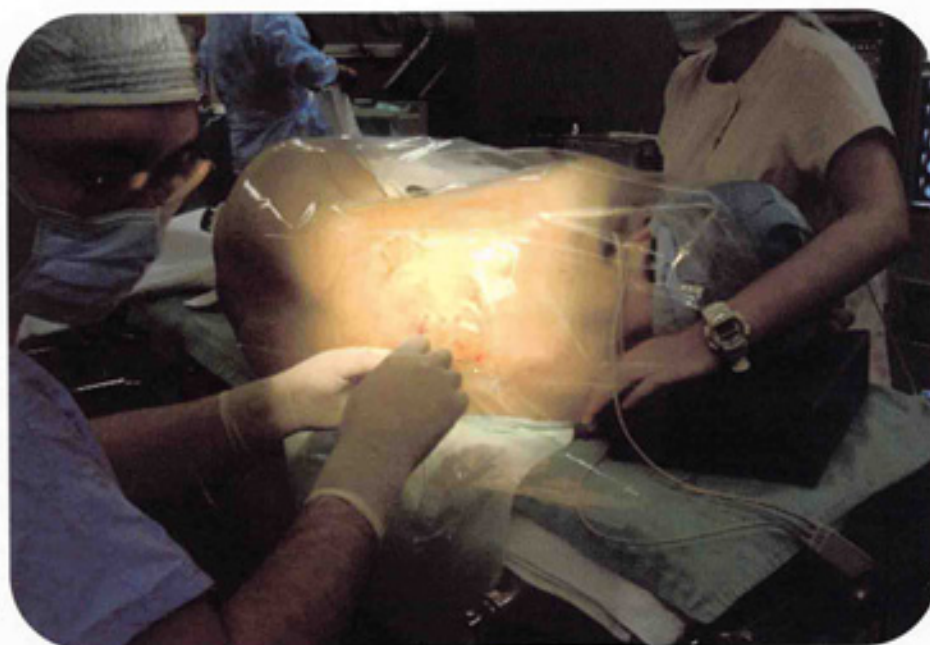


マスク麻酔



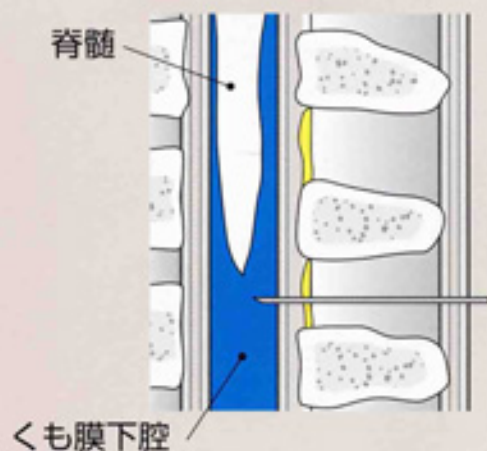
## 脊椎麻酔と硬膜外麻酔

- どちらも背中から細い針を使って麻酔をしてから行います。いろいろな合併症を防ぐためにも、針を刺すときはできるだけ背中をエビのように丸めていただきます。



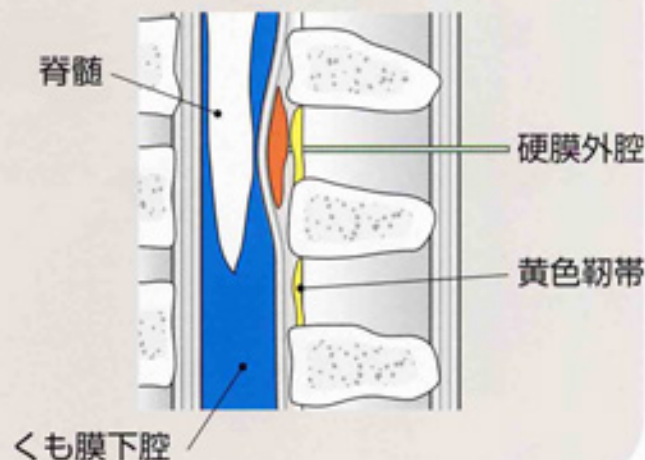
## 脊椎麻酔

- 脊椎管内のくも膜下腔に局所麻酔薬を少量注入して、脊髄神経を麻痺させる方法です。
- 下腹部や下肢などの手術の麻酔に使います。
- 合併症  
手術中：血圧低下、徐脈、悪心、嘔吐、きわめてまれに心停止  
手術後：頭痛、排尿困難



## 硬膜外麻酔

- 硬膜外腔は脊髄を保護している硬膜と黄色靭帯や脊椎骨膜部でできる間隙。ここに局所麻酔薬を注入して脊髄神経を麻痺させます。
- 顔面、頭部以外のすべての手術に用いることができます。手術麻酔のほか手術後の痛みをとるためにもよく用いられます。
- 合併症  
循環器系：血圧低下、徐脈、不整脈など、硬膜外腔の感染と膿瘍形成、血腫形成など



## 手術中は？

- 手術中は、麻酔科医があなたの状態と手術の状態を見ながら、あなたの呼吸を調節したり、輸液をして血圧が安定するように麻酔の管理に努めます。

このとき、患者さんの安全を守るために麻酔科医の判断で、必要な処置をする場合もありますのでご了承ください。





## 手術が終わると？

- まもなく目がさめますのでご安心ください。麻酔が終わると、医師が声をかけますので、こちらの指示に従ってください。
- 気管挿管麻酔を行うと手術後2～3日間は、声がかすれたり、「のど」が痛いことがあります。



# 麻酔のむずかしさと危険性について

- 全身麻酔には小麻酔はありません。
- どんな手術の麻酔であっても、全身麻酔が開始されると、患者さんの病状、年齢、栄養状態などによって、予測もできない偶発合併症が発生する可能性があります。

ときには、重篤な偶発合併症によって回復が遅れたり、10万例に1例の割合で死亡にいたることもあります。

私たちは能力の限りを尽くして、患者さんの安全を守るために最善の努力をいたします。



